

平成30年度富士見市後期高齢者医療事業特別会計予算（概要）

1 予算概要

（1）予算編成概要

平成30年度当初予算は、被保険者数の自然増などの要因により、前年度に引き続き増加した予算編成となっている。

（2）予算規模

平成30年度当初予算の歳入歳出総額は、11億6,752万1千円となり、前年度に比べ、1億1,122万1千円の増、率にして10.5%の増となっている。

2 歳入予算の主な特徴

（1）後期高齢者医療保険料

保険料は、9億7,926万6千円となり、前年度に比べ、9,718万5千円の増、率にして11.0%の増となっている。被保険者数は12,987人で、前年度に比べて998人の増となっている。なお、現年度分保険料の一人あたり平均額は75,363円となっている。

（2）繰入金

繰入金は、保険基盤安定繰入金として1億8,625万2千円となり、前年度に比べ、1,403万6千円の増、率にして8.2%の増となっている。主な要因としては、被保険者数の増及び2割・5割軽減枠の拡大に連動して、軽減対象者数・軽減額の増加が見込まれるため。

3 歳出予算の主な特徴

（1）後期高齢者医療広域連合納付金

後期高齢者医療広域連合納付金は、11億6,552万1千円となり、前年度に比べ、1億1,122万1千円の増、率にして10.5%の増となっている。主な要因としては、保険料収入の増加見込みによる。